第17回建設マネジメント問題に関する
研究発表・討論会講演集　1999年12月

原価管理小委員会　　**「土木技術者のための原価管理」**

江坂 久義

原価管理小委員会は、建設マネジメント委員会が発足した当初から存在しており、16年間にわたり建マネ委員会とともに成長してきた息の長い委員会です。振り返ってみると、発足当時はまだパソコンという名前は定着しておらず、マイコンとか上位機種のワークステーションとか呼ばれた機械を使い、ひらがなや漢字が使えないためカタカナと英数字(半角文字)だけで四苦八苦しながら、何とか省力化できないものかと、パソコンが好きで得意なものが集まり活動がなされてきたものです。パソコンの発展とともに現在見るように、一応の成果が出て、実用に耐えるようになりました。

システムの開発がひととおりすぎて、取り残されたたものは何かと考えると、本質的な原価管理の総括といった課題が浮かび上がりました。

土木工事における原価管理の考え方や管理の運用については、各企業さらには個人のノウハウによるところが多いことがこれまでの現状調査で解かり、問題提起されてきました。土木工学ハンドブックや最近刊行された土木用語大辞典に記述されている「原価管理の定義」は実際と若干違うところも見受けられます。また、あらためて製造業、サービス業など他業種の原価管理の考え方と対照してみると、建設業の原価管理の考え方、用語の使い方などにずれがあることを感じました。原価管理はあいまいなまま残され、共通な言葉ができていない。同じ発音でも人により会社により受け取り方がちがうといえます。

研究期間は2年間を予定しており、最終的なアウトプットはマニュアル本でターゲットは現場の若手土木技術者としています。

目次はつぎのとおりです。今はテーマ別に班分けをして執筆を行なっている最中です。

1.用語の定義
2.原価とは何か
3.現場におけるマネジメントとは
4.土木工事の価格構造
5.施工計画と実行予算
6.原価管理の実際
7.設計変更
8.原価管理と原価管理システム
9.事例研究